

正 誤 表

下記の部分に誤りがありましたので訂正させていただきます。
ご迷惑をおかけし大変申し訳ございません。

2015 基本情報技術者 午後試験対策 第1版 第1刷

No	訂正箇所	誤	正						
1	P.510 (5)	(5) 命令語 5 (1 語命令) の内容と解説 : D=1, I=0 で, op は 10h となるので, 表 4 から… (略) …。	(5) 命令語 5 (1 語命令) の内容と解説 : D=1, I=0 で, op は 20h となるので, 表 4 から… (略) …。						
2	P.492 14 行目	また, ハッシュ値とは, ハッシュ関数と呼ばれる一方向性の関数 (計算結果から元の値が出せない関数) を用いて問題文から計算して出した値です。	また, ハッシュ値とは, ハッシュ関数と呼ばれる一方向性の関数 (計算結果から元の値が出せない関数) を用いて 証明書 から計算して出した値です。						
3	P.183 表 差の範囲	<table border="1" style="margin: auto; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 5px;">$-2^7 \sim 2^7 - 1$</td> <td style="padding: 5px;">……</td> <td style="padding: 5px;">$2^{23} \sim 2^{23} - 1$ ($-2^{15} \sim 2^{15} - 1$ は除く)</td> </tr> </table>	$-2^7 \sim 2^7 - 1$	……	$2^{23} \sim 2^{23} - 1$ ($-2^{15} \sim 2^{15} - 1$ は除く)	<table border="1" style="margin: auto; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 5px;">$-2^7 \sim 2^7 - 1$</td> <td style="padding: 5px;">……</td> <td style="padding: 5px;">$-2^{23} \sim 2^{23} - 1$ ($-2^{15} \sim 2^{15} - 1$ は除く)</td> </tr> </table>	$-2^7 \sim 2^7 - 1$	……	$-2^{23} \sim 2^{23} - 1$ ($-2^{15} \sim 2^{15} - 1$ は除く)
$-2^7 \sim 2^7 - 1$	……	$2^{23} \sim 2^{23} - 1$ ($-2^{15} \sim 2^{15} - 1$ は除く)							
$-2^7 \sim 2^7 - 1$	……	$-2^{23} \sim 2^{23} - 1$ ($-2^{15} \sim 2^{15} - 1$ は除く)							
4	P.530 [設問2](2) ア, イの解説 4 行目	顧客テーブルが更新されると, 一事実複数箇所の問題点のうち, ③重複更新や更新忘れ… (略) …。 (③を削除する)	顧客テーブルが更新されると, 一事実複数箇所の問題点のうち, 重複更新や更新忘れ… (略) …。						
5	P.61 表	Contidentiality	Confidentiality						
6	P.393 3 行目	変数 j で示す	変数 j で示す						
7	P.431 (解説)	② A[1, 9] (i=9, j=1)	② A[1, 9] (i=1, j=9)						
8	P.586 5 行目～ 緑の枠内	実装 750 - 625 = 75	実装 750 - 625 = 125						
9	P.593 空欄g, h 9 行目	・ S3 の全工程でのバグ総件数 (実績値) = 112(設計) + 143(製造) + 90(単体テスト) + 40(結合テスト) = 385 設計工程と製造工程のバグ数 (実績値) = 112 + 143 = 255 バグ抽出率合計値 255 ÷ 385 × 100 = <u>66.23</u> …	・ S3 の全工程でのバグ総件数 (実績値) = 112(設計) + 143(製造) + 90(単体テスト) + 45(結合テスト) = 390 設計工程と製造工程のバグ数 (実績値) = 112 + 143 = 255 バグ抽出率合計値 255 ÷ 390 × 100 = <u>65.38</u> …						